

【新聞活用学習】中学校1年生・国語科

新聞記事で紹介する「私の誕生日」

指定校2年次 安曇野市立豊科北中学校 吉田咲子

### (1) 本年度のNIE活動の概要

本校では、平成28年度から「学び合い」の授業を取り入れ、本年度の重点目標を「自ら学ぶものへ」とし取り組んでいる。令和2年度全国学力・学習状況調査によると、「授業の中で、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と感じている生徒は91.2%と全国・県平均を上回り、多くの生徒が授業の中で主体的に学んでいると考えられる。国語の「話すこと」「読むこと」の領域では全国平均を上回ったが、「目的や意図に応じて、読み手に分かりやすく伝わるように書く」問題が全国平均を下回った。

そこで国語では、新聞記事で紹介する「私の誕生日」を単元に据えた。自分の誕生日を紹介するには、クラスメイトに分かりやすく伝えたい、と生徒たち自身が願う題材が必要である。そこで新聞を活用し、「自分らしい紹介」をするために適した新聞記事を選び、グーグルスライドを用いながら、相手に分かりやすく伝わる発表をするという授業を実践した。

この実践を通し、新聞には「自分の調べたい情報」だけではなく「自分の知らない情報」との出会いがあることを知って、それを楽しみ、自分が知った新しい情報を「みんなに紹介したい」という学習への必要感をもたせながら、自ら考え発表することにつなげることができた。

### (2) 本年度のNIE活動の取り組み状況（4月時点）

本校は全校生徒358人、16学級（内特別支援学級5）の中規模校である。昨年度から新聞の閲覧コーナーを設けたり、一部の授業で信濃毎日新聞のデータベースを活用したりしている。

一方、新聞を購入している家庭が少なく、新聞を購入していてもテレビ欄しか見ない生徒も多い。自分の知りたい情報をインターネットやSNS、または映像から入手することに慣れており、まとまった文章を読んだり、情報を整理したりする機会が少ない。

### (3) NIE活動のねらい（育てたい力）

本校では、相互尊重・互恵的な「学び合い」の実現に向けて、対象（教材）・友と対話しながら追究する生徒の育成を目指している。

そこで生徒たちにつけたい力を明確にした上で、新聞の中から目的に合った適切な教材を見つける方法を生徒に提示することで、生徒たちが教材に興味関心を持ち、「自分の好みに合った記事はどれだろう」「この話は知らなかったから、友だちにも伝えたい」と主体的に考える授業を仕組んでいくことが大切であると考えた。また、友だちの発表を「聞きたい」「知りたい」という授業を設定し、友との互恵的な学びを深められると考えて取り組みを進めてきた。

### (4) 全校での取り組み

#### ① 新聞閲覧コーナーの設置

全校生徒が新聞を身近に感じられるように、図書館の前に新聞閲覧コーナーを設置している。6社の新聞を毎日交互に閲覧台に置いている。朝や昼休みで一面記事やスポーツ記事などに目

を通す生徒がいた。他校の部活動の戦績、コロナウイルスの感染状況、御嶽海の優勝など、世間の動向や状況などを知ることに興味を持つことにつながった。

② 職員向け出前講座 8月19日(木)実施

信濃毎日新聞社読者センターの方を講師に、新聞の構成、見出しの持つ効果、信濃毎日新聞のデータベースにおける検索の方法を説明して頂いた。授業における新聞の活用に必要なポイントを学ぶことができた。

③ 読売新聞への投稿 11～12月

3学年の社会の授業で、「農業の魅力どう高める」について考え、自分の意見をまとめて読売新聞の「気流」に投書した。農業を営んでいる家族についての経験を踏まえた意見や、ロボットの活用や農業人口を増やすためにどうすれば良いかなど、様々な意見があった。一つのテーマであっても様々な視点で考える必要があることを学ぶ機会となった。

④ データベースの活用

司書の先生が、図書館での国語の授業で信濃毎日新聞のデータベースを使い、10代の声を綴った「10代」の記事を検索する授業を行った。生徒たちは自分にとって一番興味深い記事を選び、その記事を選んだ理由と感想を書いた。自分と年齢が近い投稿者の声に共感した生徒が多く、また色々な視点から物事を捉えることの大切さに気づくきっかけにもなった。

(5) 公開研究授業などの活動内容

1. 単元名 新聞記事で紹介する「私の誕生日」(中学校1年 国語)

2. 単元の目標

【知識及び技能】

- ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(2)イ
- ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解できる。(3)オ

【思考力・判断力・表現力等】

- ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題(題材)を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(B(1)ア)
- ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(B(1)イ)
- ・根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見いだすことができる。(B(1)オ)

【学びに向かう力、人間性等】

- ・言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

3. 本時の位置 7時間扱い中の第4時

第1時 信濃毎日新聞社の方からの「新聞」についての説明

第2時 本単元『新聞記事で紹介する「私の誕生日」』の学習活動の説明

第3時 5つの師範を視聴し、自分がみつけたそれぞれの良さを記入。

## 第4時 本時

第5、6時 グーグルスライドで『新聞記事で紹介する「私の誕生日」』作成

第7時 発表

### 4. 教材の価値と本時に寄せる教師の願い

#### 【教材の価値】

よく『「本を読む」「新聞を読む」人は国語の力がつく』と言われる新聞だが、1年3組では家庭で購読している生徒は半数強である。その上、新聞を取っていてもほとんどの生徒が読まない実情がある。

本年度から安曇野市でも生徒に1台ずつのクロームブックが支給され、インターネットの情報はより一層身近になった。テレビやラジオ、新聞、インターネットといったメディアの中で、触れることの少なくなった「新聞の情報」や新聞のもつ価値に気づき、これからの生活や学びに活かすことができるきっかけとしたい。

#### 【教師の願い】

インターネットの情報が身近な生徒達が、そのインターネットを使い、「新聞」というメディアを利用することで、新聞というメディアの良さに気づき、利用法を考える中で、自分の興味を超えた視野の広さをもってほしい。また、他者の発表の中から互いの違いや良さをみつけ、情報選択の視点も広げてほしい。

### 5. 本時案 展開 7時間中 第4時

#### ① 本時の主眼

「宮尾先生の誕生日紹介」の5つのパターンの師範を見聞きし、グループ毎にそれぞれの良さを考えた生徒が、自分の誕生日の発表の仕方を考える場面で、師範の良さを考えたり、友の意見を聞いたりしたことを生かし、どのように記事を選定するか決めていくことができる。

#### ② 授業構想

##### ○本時に扱う学習課題

学習問題：新聞記事を使った「私の誕生日」の紹介のしかたを考えよう。

学習課題：どんな新聞記事を取り上げて「私の誕生日」を紹介するのか考えよう。

##### ○本質的な問い

- ・5パターンあった、師範の誕生日の紹介のそれぞれの良さは何だろう。
- ・自分の誕生日をどのように紹介したら良いだろう。

#### ③ 授業のみどころ（全活動のクロームブックの使用も含む）

- ・師範の発表のそれぞれの良さについての4人組での意見交換の場面。
- ・それぞれの良さの検討を受け、自分はどんなふうにな新聞記事を使った誕生日紹介をしようか考える場面。

#### ○展開

	学習活動	予想される児童の反応	指導・評価
導入	○本時の確認	・今日は先生方が作ったグーグルスライド「新聞記事で紹介する宮尾先生の誕生日」での良さを班やクラスで出し合って確認し	指：本時は師範の良さを確認してから、実際に自分がどんな面・ワードを使って

		てから、自分がどんなふうに自分の誕生日を紹介するのか考えるのだな。	自分の誕生日紹介をするのか考えるよう指示する。
	新聞記事を使った「私の誕生日」の紹介のしかたを考えよう。		
		師範の誕生日の紹介のそれぞれの良さは何だろう。	
展 開  4 0	○師範の「良さ」の確認 ①班ごとに自分がみつけた良さを発表し合う。 ②班で出された良さを全体で発表。班ごと4分・発表 ×5 宮尾先生 杉谷先生 竹花先生 矢花先生 菅原先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮尾先生は記事の紹介にはコメントをつけずに、1つの面で年分紹介しているな。最後に見出しをまとめて、そこからわかることを考察しまとめているな。</li> <li>・他の先生方は1つの面に1年ずつ記事を入れて、それぞれにコメントをつけているな。</li> <li>・杉谷先生と菅原先生は何歳かがわかる表示があるな。</li> <li>・竹花先生は曜日が入っていてイメージが広がるな。</li> <li>・矢花先生は壁紙に信毎のキャラクター、なーのちゃんが入っていてかわいいし、信毎の記事だとわかるな。</li> <li>・〇〇先生のがわかりやすいな。</li> <li>・〇〇先生の字やポイント、色が目を引くしわかりやすいな。</li> <li>・みんなから出された意見をまとめてしっかり発表しよう。</li> <li>・そんなところに気づいたのか。</li> <li>・本当かな？クロームブックで師範のスライドを確認してみよう。</li> </ul>	指：グループの班長が進行すること、全体での発表は順番に行く（班、全体）こと。 指：実際にクロームブックで師範を確認すると良いこと。 指：全体の発表時に内容が重なった場合は発表しなくて良いこと。 指：全体の発表時に発表者が困ったことがあったら、班で助け合って良いこと。 <b>評：誕生日の紹介が新聞記事によって興味深く行われることを理解できる。</b> <b>（3）オ</b> <b>評：比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたが理解できる。（2）イ</b>
	○師範も参考に、自分の誕生日をどんなふうに発表するか考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇先生のは良かったな。自分も □□面で調べてみよう。</li> <li>・自分はワード検索だな。</li> <li>・市川さんに教わったときに、もっといろいろな面があったな。どれにしようかな。</li> <li>・誰もやりそうもないところで記事を選びたいな。</li> <li>・決まったらもうやっていいかな。</li> </ul>	指：面やワード検索で記事が見つけられることを確認し、まず「どの面」「どのワード」で検索するか決めるよう指示。 指：決まった人はどんどん検索し、スライドの作成に入ると良いことを伝える。

		・困るから、データベースで新聞を見て考えたいな。	<b>評：自分の誕生日紹介のための記事を決められる。 B(1)オ</b>
終末 5	○本時の学習から次時の学習活動の見通しを持つ。	・先生方はいろいろな工夫をしていたな。 ・自分は〇〇面を使ってみよう。 ・自分はワード検索がいいな。 ・どんなふうにもとめにつなげようかな。 ・早く作ってみたいな。どんどん進めたいな。	指：次時は自分の誕生日紹介のための準備に入ることを伝える。 <b>評：記事の持つ価値に気づき、その記事で想いや考えを伝え合おうとする。 学びに向かう力、人間性等</b>

### (6) 児童・生徒の反応

- ・前時に信濃毎日新聞社の方からの「新聞」についての説明を受け、新聞には様々な面があることを学んだ生徒たちが、本時で5種類の師範で「経済面」「スポーツ面」「国際面」「社会面」の4つの面と「地球温暖化」というワード検索で13年間をまとめられたスライドを見ることができた。それぞれの「面」の面白さや価値を見つけたり、ワード検索機能を使って1つの事象を追ったりすることで、自分の好みを活かしながら人に伝えたい内容にアプローチしていく方法が様々なことに気づき、「自分らしい発表をしたい」という意欲につながることができた。
- ・「先生方の発表の良さ」を共有する場面では、「杉谷先生の記事では、新聞で分からない言葉の豆知識みたいなものを書いていて興味が持てる」「記事にはない写真を自分で探して入れているから、分かりやすい」「記事の横に自分の意見や感想を書いているところが分かりやすい」など、見ている人に短時間で記事のポイントを伝える工夫を見つけて分かち合うことができた。
- ・授業の残り5分で自分が扱いたい面やワードを決めた後、実際に新聞のデータベースにアクセスしどんどん自分の使いたい記事を探そうとしている生徒の姿があった。また、「社会面」がいいか「スポーツ面」がいいかなど、2つの面で迷っている生徒もいた。それぞれの記事の良さを理解した上で「みんなに伝えたい」記事を選定しようとする姿があった。

### (7) 成果と課題

- ・師範を通して知らなかったことを知って驚いたり、新鮮さを感じたりする姿があった。新聞のそれぞれの面の特徴やワードを追うことの価値を理解することができたが、その分生徒の追究する時間が少なくなった。1時間の中で追究する時間を確保するために、師範の数とのバランスをはかることも大切である。
- ・自分のワークシートに書いたことをそのまま伝えるだけではなく、どの先生のスライドのどの部分に良さを感じたか、生徒たちがスライドに立ち戻って話すことで、学び合いがより深まると感じた。
- ・「自分がモデルとしたいのはどの先生の発表だろう」または「自分の発表に活かせるところを考えよう」など、問いの仕方で生徒の活動を引き出す工夫をしていきたい。
- ・普段新聞の記事にはあまり目を通していない生徒たちが、記事(教材)の価値に気づき、文を書いたり発表したりすることが苦手な生徒も、前向きに取り組むことができた。生徒が自分に適切な教材を選定することで、自然と主体的な活動になるということが改めて分かった。
- ・生徒が「知りたい」「伝えたい」という必要感をもった教材の選定を進めることで、新しい視点を得たり学習することの喜びを感じたりしながら、主体的な学びのある授業を行っていきたい。

【生徒の第7時 振り返りより】

今まで新聞はあまり読んだことがなかったが、今回の学習をやって、新聞にはいろんな記事があって、昔はこんなことがあったんだと知ることができた。自分の誕生日の日だけではなく、友だちの誕生日の日の記事も見てみて、ビックリすることがたくさんあった。自分の家では新聞を取っていないが、ネットニュースだけではなく、新聞もじっくり読んでみたいと思った。(T生)

普段読まない新聞の1つのテーマに着目して、普段から使用しているクロームブックでスライドにまとめて発表というのは少し違和感があったが、やってみると自分の知りたい情報以外にも興味のある記事がどんどん入ってきて面白かった。新聞を読もうとすると情報量が多すぎて、何から読めばいいのか分からなかったけれど、これで新聞の読み方などを教わったので、少しずつ新聞を読んでいこうと思った。(S生)

【生徒のグーグルスライドより】 (スライドの一部を抜粋)

くらし 面で振り返る  
[Redacted Name] の13年

2008 8.19

ビルや電車の冷房によって体の調節機能を狂わせ、冬の冷え悪化にもつながる「夏冷え」というものがあったらしい。今年の夏も注意!!

信濃毎日新聞  
2008年8月19日付

「夏冷え」にご注意

体の調節機能狂い 多様な症状

腕や太もも 冷やさぬ対策を

2009 8.19

暑い夏の過ごし方として色々なものがあった。

今年の夏にいいかもしれない。

信濃毎日新聞

2009年8月19日付



## 13年間を振り返って

- 8月の半ばなので夏のことにすることが多かった
- 今後に役立つことものっていたのでよかった
- 自分の知らなかった事が知れてもっと調べて知ってみたいなと思った
- 気軽にできるものなどものっていたので家で簡単に作れて便利だなと思った。そして実際に作ってみたいなとも思った
- 新聞について興味がなかったけど今回のことですごく面白いんだなと思った
- **また他の面でも調べてみたいなと思いました!!**

---

---

## 私の誕生日

— ～「America」からみる5月16日～ —

---

---

## 2011年 3歳

信濃毎日新聞 2011年 5月16日付

なでしこJAPANは、アメリカ代表と戦い負けてしまいました。しかし、この年なでしこJAPANは、ある快挙を成し遂げました。なんだと思いますか？それは、なんと、5月16日に負けてしまった強豪アメリカを下し、W杯初優勝したのです。



**W杯強化試合**  
【コロンバス(米オハイオ州)共同】サッカーの女子ワールドカップ(W杯)6月26日開幕・ドイツ)を控える日本代表が14日、米オハイオ州コロンバスで米国代表と強化試合を行い、0-2で敗れた。

## 大町と米国の姉妹都市 交流展 松本で始まる



さまざまな工芸作品などが並ぶ国際交流展の会場

## 2013年 5歳

2008年に続き、アメリカと日本の交流の記事がありました。今回は、米カルフォルニア州メンドシーノと交流店があったようです。これからもアメリカと日本はなかよくしてほしいです。

信濃毎日新聞

2013年 5月16日付

大町市の姉妹都市、米カリフォルニア州メンドシーノと大町市に併じた旧美麻村と同時の工芸家による作品1980年ごろから、版画など展「工芸をめぐるとつ町」で工芸を通じた交流が始まった。松本。住民たちが2008年からメンドシーノと大町市などメンドシーノは海や森などで作品展を交互に開催している。自然に囲まれたリゾート地。今回はメンドシーノの作家で、アーティストが多く集ま。今回はメンドシーノの作家

12人と大町、安曇野、松本市の作家12人が出展した木工、絵画、彫刻、陶芸、染色、書画、ガラスなどジャンルはさまざま、メンドシーノからは大きな松葉を編み込んで作った花瓶、捨てられていたワイヤやレースなどを材料にしたオブジェ、桜が印刷された布を使用したキルトなどが寄せられた。絆の意味を込めて2枚の板を合わせた額を出展した木工作家小田時明さん67(大町市美麻)は「友達の話の意図で作った。ジャンルにとらわれない米国的な展示も楽しんでほしい」と話した。19日まで。入場無料。7月には大町市でも開く。

## 0歳から13歳までの私の誕生日を見て感じたこと

長野と米の交流は昔からずっと続いているんだなと思いました。(0歳と5歳の頃の記事を読んで)また、政治では日米と韓国の北朝鮮についての記事が多いなと思った。(8歳と13歳の頃の記事を読んで)僕が一番びっくりした記事は2009年の新型インフル米の感染10万人超か保健当局医師が推計です。5月でもアメリカでインフルエンザが流行っていたことに驚きました。そしてアメリカと日本はこれからも仲良くしてほしいなと思いました。

FIN.